

平成20年と22年に館山市職員自死という悲しい出来事がありました。このうちお一人のご遺族の方が平成30年に市に対する裁判をおこし、死因には過重労働や上司のパワハラがあると主張するとともに、**原因究明のための「第三者委員会の設置」を求めています。**

### ◎国の自殺対策

『誰も自殺に追い込まれない社会の実現』

『自殺するのは本人が弱いからだ』と誤解していませんか？自殺は「個人の課題」として捉えられがちでしたが、平成18年に自殺対策基本法が施行されて以降「**自殺はその多くが追い込まれた末の死である**」、だからその多くを防ぐことができる社会的な課題である、という基本認識のもと、生きることに包括的な支援が展開されるようになりました。市町村には、自殺対策計画の策定が義務付けられています。(館山市は策定中)

### ◎パワハラ対策の重要性

昨年の労働施策総合推進法改正により、本年6月から職場におけるパワーハラスメント防止対策が事業主(市役所も含まれる)に義務付けられました。

## 生き心地の良い町を目指して

台風被害からの復旧が続く中、先の見えない新型コロナウイルス感染症、さらに次の災害への心配も出てきました。国や市も様々な経済対策を打ち出しているのですが、お困りのことがあれば、ご相談下さい。

6月議会では、約10年前の職員自死について取り上げました。健全な市役所の職場環境の確保が、職員の仕事効率の向上、ひいては市民の安心や信頼に繋がります。今からでも、しっかり原因を究明することが大切ではないでしょうか。(裏面参照)

自殺率が突出して低い徳島県の旧海部町は「生き心地の良い町」として紹介されています。自殺予防因子の一つに、「**いろいろな人がいてもよい。いろいろな人がいた方がよい**」という異質や異端なものに対する偏見が小さいことが挙げられています。

### ◆パワハラがもたらす損失◆ (21世紀職業財団資料より)

- ① **パワハラを受けた人**：人格を傷つけられ、仕事への意欲や自信を失い、休職や退職(さらに自死)に至る場合もある。
- ② **周囲の人達**：仕事への意欲が低下、職場全体の生産性にも悪影響。
- ③ **パワハラを行った人**：職場の業績悪化や自身の信用が低下。懲戒処分や訴訟のリスクを抱えることにもなる。
- ④ **企業・役所等**：パワハラを放置すると、裁判で使用者としての責任を問われることもあり、イメージダウンにも繋がりがねない。

集団が同じ方向に進むと、誹謗中傷が集中したり集団いじめに繋がるので、**多様性があることがとても重要**なのだと思います。

さらに「病やまじ、市いちに出せ」という言葉が使われるそうですが、**悩み事や困ったことは取り返しがつかなくなる前に周囲に相談する**、というリスクマネジメントの発想です。

「新たな住民を自然に受け入れ、お互いを尊重する」「緩やかな繋がりで、もいざという時は周りに助けを求められる風土」「人物本位でリーダーを選び、自分達のこと自分達で決めていく」など、自殺の少ない生き心地の良い町から学べることは、沢山ありそうです。

#### ★参考文献

『自殺の9割は他殺である』

上野正彦氏著

『生き心地の良いまち』

岡檀氏著



発行：むろあつみ後援会

〒294-0307 館山市波左間1049-2

TEL 0470-29-5333 FAX 29-5337

Email muroatsumi@gmail.com

YouTube

「むろあつみ」

で検索

チャンネル登録

お願いします♪





二中・三中統合に関する議会の決断

6月議会最終日に、二中・三中統合に関する議決の場があり、賛成多数で可決されました。私は以下の通り、反対票を投じました。

来年度から、二中と三中を統合して「館山中学校」とする準備が着々と進められている段階で反対を表明するのは本意ではありませんが、実は議会として、二中・三中の統合問題に対する賛否を正式に表明する場は今しかありません。

執行部が事前に議会に相談することなく方針を決めてしまい、議会は仕方ないと追認せざるを得ない状況に強引に進めるやり方は、安房広域で進めていたゴミ焼却施設からの脱退を決めた時も、全く同じでした。これでは議会の存在意義はありません。

振り返ると、三中の耐震不足が判明したのが、六年前の平成26年。平成30年に三中の建て替えのための基本設計が予算に計上された際、「その前に市内中学校全体の再編統合を考えるべきではないか」と主張したところ、教育委員会の回答は「現時点では再編は考えていない」というものでした。

前澤基金と食のまちづくり

緊急事態が発生したので、20億円の前澤基金の一部をコロナ対策に回すことは皆さん了解されることと思うのですが、それ以外は**ぜひ公募をメインにして頂きたい**。なぜなら、観光振興のためには事業としての視点、ビジネスマインドが必要で、それは市役所の人達のこれまでの仕事とは異質なものであるからです。

アイディアは民間に豊富にあります。特に億単位の資金を投入して箱物を作る場合にはその後の維持費のことまできちんと考えておかないと、投資の回収は難しく、むしろ後世の人達が赤字負担に苦しむことが多々あることを非常に懸念しています。

食のまちづくりの拠点構想に関して、民設民営ではできなかったのは採算性に疑問があるからです。前澤基金を投入するにしても、そのやり方についてはもう少し吟味して欲しいです。箱物は最低限の機能だけ持たせて、段階を追って整備していく、という考え方もあります。

ところがそのわずか一年後に突然、二中と三中の統合方針を執行部が発表したことから、大きな混乱が生じました。

三中の耐震不足を今まで放置してきたのは、私たち議会にも責任があります。各議員が個別に質問や追及をするだけでなく、こういう大事な問題は、もっと早い段階で議会としての見解をまとめて執行部に意見具申するなどの行動も必要だったと反省しています。

**中学校全体の将来像が描けていない中で一番大きな二中と三中の統合だけ先に決めるのはあまりに無謀なことと思います。**私の考えは、以前から主張している通りです。

- ①耐震不足の三中を安全面から先ず閉鎖する
- ②三中学区の生徒は、他の3つの中学校のいずれかに緊急避難する
- ③その上で大急ぎで中学校全体の再編計画を作る

以上、二中・三中の統合を定める議案第45号に反対致します。  
なお最後に、本議案が可決されたならば、今後は統合が上手く進むように協力していく所存であることを申し添えます。

観光ビジネスの観点と、農業の六次産業化という二つの機能が混在していますが、観光の部分は「場所ありき」の発想ではそう簡単に上手くいくものではありません。民間の意見を取り入れるのなら、場所も含めて再検討する、というくらい真剣に考えて欲しいです。

～むろあつみと語ろう～

市政報告・意見交換会

日時：7月26日（日）14時  
場所：コミュニティセンター 1階

- できれば事前にご予約下さい  
メール muroatsumi@gmail.com  
29-5337 (FAX) 29-5333 (TEL)
- **ご参加できない方の事前質問もお受けします**
- 当日は入口で体温測定も行います  
マスク着用、体調管理をお願いします  
余裕をもった座席配置にします
- **ネット配信も予定しています**